

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午後、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に有害なカレニア・ミキモトイが最高で15,000cells/ml、シャットネラ属が650cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモトイ、シャットネラ属はともに増加傾向で、湾中央部では漁業被害が想定される密度を超えていました。

このような条件下で給餌や網換えなどを実施すると、大量死を招くことがあります。

今後、降雨等で赤潮が増殖、拡大する可能性が高いことから、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属
鳴無	2m	20	340
	5m	1	1
中学校前	2m	60	112
	5m	0	3
目ノクソ	2.5m	420	150
	5m	0	3
光松	0.5m	15,000	650
	2m	8,000	450
	5m	90	2
大鹿	2m	650	53
	5m	2	3

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

